

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 ココハウス

公表日 2025年 1月 29日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・人数が多い日、動きの活発なこどものいる日は落ち着いてあそべる遊具を提供しています。 ・大型積み木の配置をこどもがぶつからないよう工夫しています。	・今年は体の小さなこどもが多く、それでも8人いると危険を感じる場合があります。 ・活動する部屋を分けるなどを検討します。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・職員の休みはなるべく重ならないよう相談しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	・おもちゃのかごに全て写真を貼り、片付ける場所にも同じ写真を貼っています。 ・個人マーク、足型、手型などの視覚支援を活用しています。 ・トイレ、水道など踏み台などを用意しています。	・ドアがないので（入口、個別のスペース）子どもが行っていい所、ダメな所がわかりにくいです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・安全に過ごせるよう手すりにウレタンを巻いています。 ・活動に合わせた遊具やセンサリーツールを作成しています。	・老朽化による、床や壁の剥がれがケガにつながる可能性があります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	・必要に応じてパーテーションなどを利用し、個別の空間を作っています。 ・必要に応じて自立課題学習のスペースを開放しています。	・カームダウンスペースを設置できるといいと思います。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		・実施していません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	5		・トイレや食事などの生活面、個別療育や集団活動など多方面からアセスメントを行っています。 ・活動ごとに担当を決めてアセスメントを行っています。 ・都度、こどもの様子を共有しています。	・今後、職員全員での話し合いの時間を増やしていきたいです。
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・都度、こどもの様子を共有しています。 ・支援計画を作成する際、話し合いの時間を設けています。	・今後、職員全員での話し合いの時間を増やしていきたいです。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・回覧、共有しています。 ・職員全員が対応できるよう具体的な方法を確認しています。	・今後、職員全員での話し合いの時間を増やしていきたいです。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・回覧、共有しています。 ・確認しやすいよう、こどもごとにファイルを作成しています。	・保護者の方に検査の報告、検査結果の提出をお願いします。
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・それぞれの活動に複数担当を割り当て相談できるようにしています。	・個々の得意分野を生かしながらいろいろな担当を経験していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・季節に合わせたプログラムを取り入れています。 ・活動担当を持ち回りにしています。	・個々の得意分野を生かしながらいろいろな担当を経験していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	5		・全ての活動に支援につながる取り組みを取り入れています。	・午後は人数が少ないため、集団活動が十分に行えないことがあります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	・ホワイトボードに視覚化することで情報共有や、役割分担の調整をしています。	・現在、送迎担当は開始前の打ち合わせに参加できていません。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・気付いた点など、その場で共有するとともに記録し、全員が共有できるようにしています。	・現在、送迎担当は終了後の打ち合わせに参加できていません。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・記録ノートその他、付箋を活用しています。 ・時間を置かず検証、改善を試みています。	・検証、記録できる時間が十分に確保できていません。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・常に支援計画の目標を念頭におき、子どもの様子をみています。 ・都度、こどもの様子を共有しています。	・その場にはいない職員への共有を心掛けます。
24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。					
25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。					
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・参画できるよう担当者と連絡を取り、時間調整をしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・要請があれば時間調整をしています。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	2 (未回答1)		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
関係機関や保護者との連携	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	同施設内の保育園のこどもと同じスペースを使用し、水あそびを試みました。	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・毎日の連絡帳はもちろん、メールを送る機会がある場合、その時の子どもの様子を知らせています。 ・年に2回、こどもの写真をアルバムにして渡しています。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		・参加できる研修などのチラシを配布しています。 ・お便りや連絡帳を利用して情報提供を行っています。	
	32	【児発事業所・児発センターのみ】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・園と良好な関係が築けるよう気持ちの良いあいさつ等心掛けています。 ・送迎時に、気になることなど担任と話をするようにしています。 ・実物を見せながら支援内容をお知らせしています。	・園と保護者と事業所の連絡がスムーズにいくよう工夫していきたいです。
	33	【児発事業所・児発センターのみ】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	・就学に関係する際は、小学校や特別支援学校と良好な関係が築けるよう心掛けています。	
	34	【児発センターのみ】 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【児発センターのみ】 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36	【児発センターのみ】 (自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37	【放デイのみ】 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。				
	38	【放デイのみ】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。				
	39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				
	40	【放デイのみ】 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。				
	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
42	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・これまでの面談時に伺った子どもや保護者の意向を再確認し、生かしています。		
43	「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		・評価内容に出てくるおもちゃや教材、遊具など実物を見せるようにしています。 ・支援計画の説明に合わせて参観の機会を設けています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・連絡帳などで悩んでいる様子が伺えるときはこちらから面談を提案しています。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1		
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・相談などに対し、その日のうちに何かしらの返事をします。 ・連絡帳、メール、電話、面談、保護者の方に合わせた対応を心掛けています。	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・こども全員が満遍なく紹介されるよう通信の内容や写真を吟味しています。	
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・鍵付きのロッカーに保管しています。 ・PCはパスワードを設定しています。	・バタバタしている中での取扱いはミスが生じやすいです。 ・落ち着いてできる時間を確保できるよう考えます。
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・視覚的に分かりやすいよう実物や写真を見せています。 ・お知らせメールは1日に1通程度にしています。 ・通信、メールなど伝えたい内容を2つ程度に絞っています。	
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2 (未回答1)		
	51	【放デイのみ】 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。				
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・事業所で設定された訓練だけでなく、施設や県の突発的な訓練を利用しています。 ・普段から非常階段を通る機会を設けています。 ・普段からおんぶ紐の装着練習をしています。	・子どもや施設内の、その時々状態、状況により、定期的にマニュアルを見直すようにします。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・フェイスシートに記入してもらい、確認しています。	
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・緊急時の連絡先を作成しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・時間を置かずすぐに対応しています。 ・日ごろからちょっとしたことを話しやすい雰囲気を中心掛けています。	
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・死角を作らないようにしています。 ・こどもの対応が難しい時、職員を交代するようにしています。	
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			